

(敷金・保証金返還)

請求の趣旨【前記記載のとおり】

- 1 被告 は、原告 に対し、 次の金額を支払え。
- (1) 金 _____ 円
- (2) (1)の金額【のうち金 _____ 円】に対する【 _____ 年 _____ 月 _____ 日
本訴状送達の日翌日】から支払済みまで年 _____ パーセントの割合による金員
- 2 訴訟費用は被告 の負担とする。
- との判決【及び仮執行宣言】を求める。

請求の原因（紛争の要点）

- 1 原告 は、被告 と _____ 年 _____ 月 _____ 日締結した賃貸借契約に際し、【敷金 保証金】として、金 _____ 円を被告 に交付し、次の物件の引渡しを受けた。
- 物件 所在 _____
名称 _____
- 2 原告 は、被告 に対し、本件賃貸借契約終了により、 _____ 年 _____ 月 _____ 日に、上記物件を明け渡した。【原告 が【敷金 保証金】から控除されるのを争わない額は、
未払賃料 _____ 円
原状回復費用 _____ 円
 _____ 円
、（合計 _____ 円）である。】
- 3 敷金
保証金 の返還期限は、
【契約 催告】により _____ 年 _____ 月 _____ 日
本訴状送達による催告により、訴状送達日
となるが、これまでに返還を受けた金額は【ない _____ 年 _____ 月 _____ 日に _____ 円である】。
- 【また、過払いの賃料（管理費込、以下同じ） _____ 円が生じている。
賃料は、月額 _____ 円で、翌月分を当月 _____ 日限りで支払っていたため、退去時の _____ 年 _____ 月分に過払いが生じたものである。】
- 4 よって、原告 は、被告 に対し、 _____ 円【及び遅延損害金】の支払を求める。